

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

## 腰椎側方進入椎体間固定(LLIF:lateral lumbar interbody fusion)における拡張型ケージにおける画像評価

### 1. 研究の対象

2022年4月1日から2024年7月31日までの間に、当院の整形外科で腰椎変性疾患に対して腰椎側方進入椎体間固定術の際に拡張型椎体間ケージを用いた方です。

### 2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2025年3月31日 まで

### 3. 研究目的・方法

#### 目的

Lateral lumbar interbody fusion (LLIF)による間接除圧は直接神経除圧をすることなく、椎体高を復元することで間接的に神経除圧ができることが知られています。しかしながら、拡張型椎体間ケージによる画像評価は少ないのが現状です。そこで今回の研究は、腰椎変性疾患患者を対象に、拡張型椎体間ケージによる画像成績を調査することが目的です。

#### 方法

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・診療情報等：診断名、年齢、性別、画像結果（レントゲン、CT、MRI）、手術記録
- ・試料：なし

### 5. 情報の提供先・提供方法

特にありません

#### 6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

#### 7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2320）

研究責任者 整形外科／檜山 明彦

問い合わせ担当者 整形外科／檜山 明彦

---